

2成分。白く枯らして、稲を守る。



# ボデーガード®



バイエル クロップサイエンス株式会社  
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262  
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078  
(9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日を除く)



●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。





















水稲用一発処理除草剤

# ボデーガード<sup>®</sup>ジャンボ

## 有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録：第22617号

種類名：テフリルトリオン・フェントラザミド粒剤

含有量：テフリルトリオン……7.5%  
フェントラザミド……7.5%

試験名：BCH-062 ジャンボ

製剤の安全性

人畜毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく  
毒物・劇物に該当しないものを指している通称）

経口（ラット♀） LD<sub>50</sub>> 2,000mg/Kg

経皮（ラット♂♀） LD<sub>50</sub>> 2,000mg/Kg

魚毒性：コイ LC<sub>50</sub>(96h) 708mg/L

オオミジンコ EC<sub>50</sub>(48h) 430mg/L

## 適用雑草と使用方法

（2018年1月現在の登録内容）

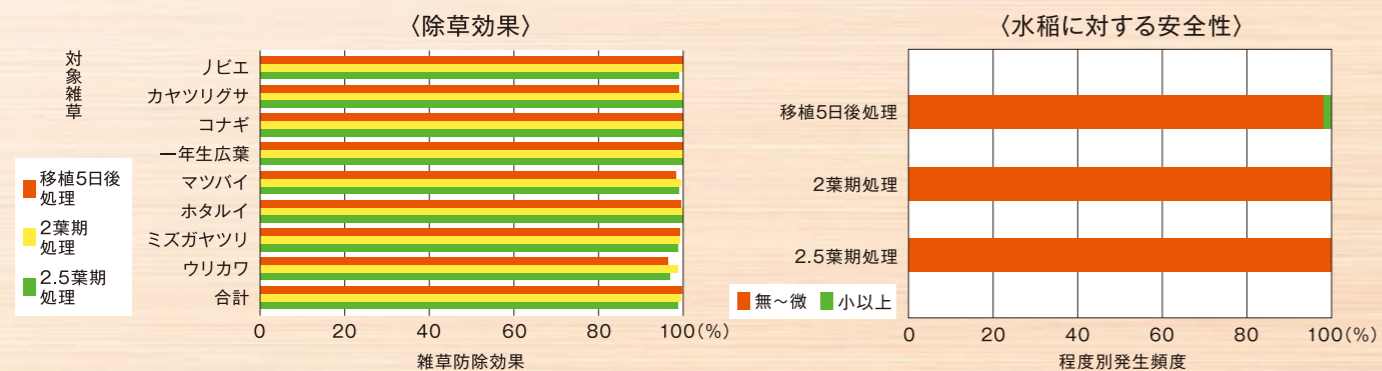
## 注意事項

■必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。

■本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲については田植え5日後からノビエの2.5葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、エゾノサヤカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生始期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないの

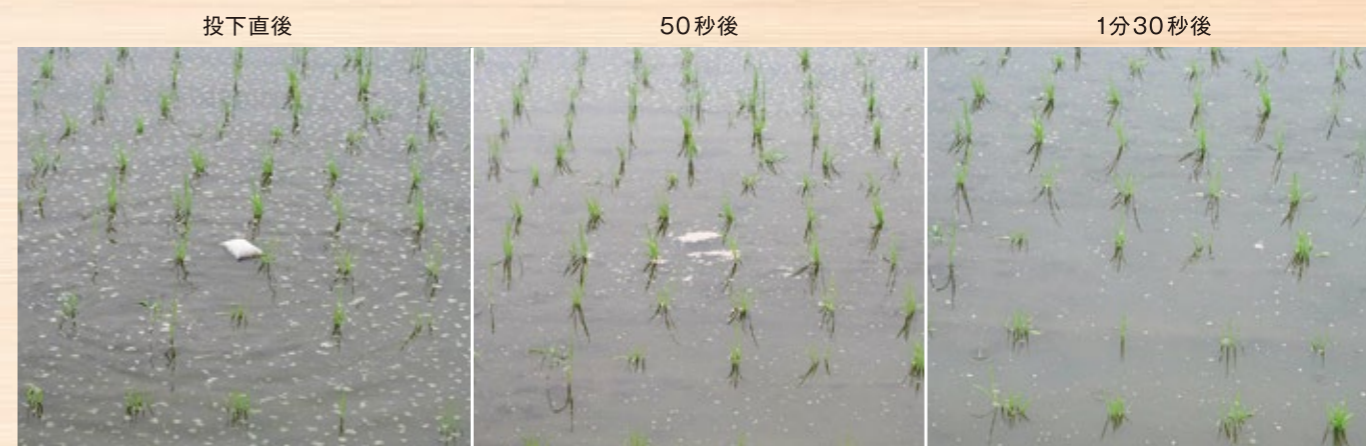
## 除草効果と水稲に対する安全性

本剤は移植後5日からノビエ2.5葉期のいずれの処理時期でも各種雑草に対し優れた効果を発揮します。また、移植水稲に対しても移植後5日からノビエ2.5葉期のいずれの処理時期でも十分な安全性を示します。



## 拡散性

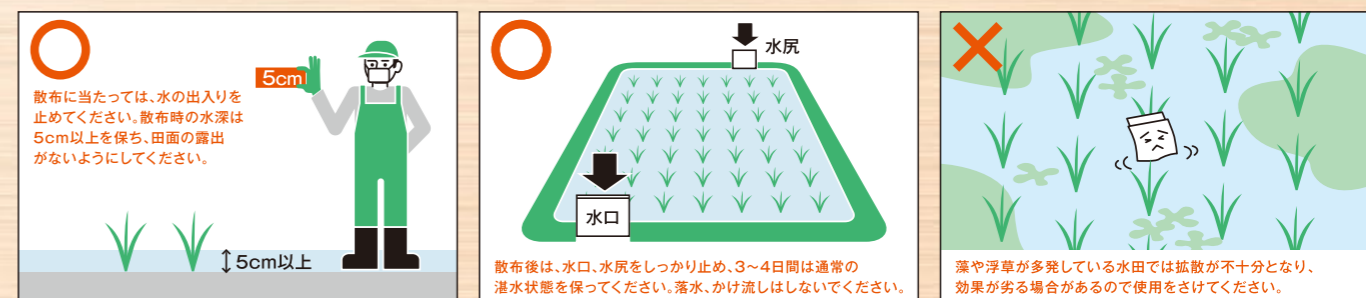
ボデーガードジャンボは散布後、約5秒で崩壊が始まり、速やかに田面水表面を拡散していきました。本剤の崩壊・拡散性は極めて良好で、約1分30秒後には拡散が完全に終了しました。



・試験場所：バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所 ・試験規模：20m×15m(300m<sup>2</sup>) ・散布時の水深：5cm ・散布方法：手散布

## 上手な使い方

使用時期は、ノビエ2.5葉期まで、ただし、移植後30日までです。一発処理の目安を日数で示しました。ノビエ発生状況を確認して散布してください。散布に際しては水の出入りを止め、十分な湛水状態（水深5～6cm）を保ち、田面の露出がないようにしてください。



※バックは水溶性のフィルム(WSB)です。ぬれた手で扱わないでください。 ※バックは破らずにそのまま投げ込んでください。

ジャンボ剤のバックが固まっている場合は、手で軽くもみほぐしてから投げ入れてください。拡散が不十分な場合などに、まれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。